

毎月第3日曜日は < 家庭の日 >

家庭の日啓発促進事業

もうすぐ小学生

～家族そろって新入生～



みなさんは もうすぐ しょうがっこうへ にゆうがく
します。

がっこうで たのしく すごすために だいじに して
ほしい ことを

こころ

からだ

まなび

の3つに まとめました。

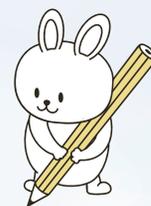
しょうがっこうに にゆうがくするまでに おうちのひと
と いっしょに かんがえて とりくんで みてください。



公益社団法人 和歌山県青少年育成協会



やってみよう！！



お互いを認め合うためのチェックリスト

チェックリストⅠ

つぎ 次の1～10のしつもんに^{こた}答えてください。

「^{おも}そうだ」と思ったら○、「^{おも}ちがう」または「^{おも}わからない」と思ったら×を書きましょう。

わかりにくいしつもんは、^{こた}うちのひとといっしょに答えてください。

番号	○・×	チェック項目
1		わたしは、おうちにいるとほっとします
2		わたしは、じぶんはいろんなことができるとおもいます
3		わたしは、おともだちとあそぶことがすきです
4		わたしは、おともだちにやさしくできます
5		わたしは、えほんがすきです
6		わたしは、ちいさいこやいきもののおせわがすきです
7		わたしは、あさ、おきたらいつも「おはよう」といえのひとにいいます
8		おとうさん・おかあさん・まわりのひとは、よく「ありがとう」といってくれます
9		おとうさん・おかあさん・まわりのひとは、わたしのきもちをわかってくれます
10		おとうさん・おかあさん・まわりのひとは、うれしいときいっしょによるこんでくれます

チェックリストⅡ

※^{こた}うちのひとに答えてもらってください。

お子さんとの日頃の接し方について、あてはまるものに○、

あてはまらないものに×をつけてください。

お子さんと一緒に「こうしてる？」などと聞きながらやってみてください。



番号	○・×	チェック項目
1		こどもの話すことは、どんなことでも「そうだね」と、まず受け止めている
2		こどもの苦手なところは無理にでも克服させるようにしている
3		こどもといっしょに考えることを大切にしている
4		こどもを叱るときには、きょうだいや友達と比べている
5		こどもの得意な面を伸ばすよう心がけている
6		こどもが望んだことは、何でもそのとおりにしている
7		こどもが良くないことをしても、まずこどもの思いをしっかりと聞くようにしている
8		こどものやる気がでないときは、「ごほうびをあげるから」と誘うようにしている
9		こどもがどんなことを考えているのか、いつもわかろうとしている
10		こどもが何か挑戦するとき、先に正しいやり方を教えている

分析

○と×の数をかぞえよう！

みんなが答えた1～10の○の数はいくつ？

チェックリストⅠ

の○の数

 こ

うちのひとに答えてもらった○と×の数はいくつ？

チェックリストⅡ

の1、3、5、7、9の○の数

 こ

チェックリストⅡ

の2、4、6、8、10の×の数

 こ

全部の数を合わせると

- 16こ～20こ…  **素敵なかかわりができています**
そのかかわりがこどもの気持ちを受け止め自己肯定感を高めます！
- 12こ～15こ…  **良いかかわりができています**
こどもの微妙な気持ちの変化にも敏感に！
- 9こ～11こ…  **こどもをしっかり受け止めましょう**
こどもの笑顔が待っています！
- 5こ～8こ…  **こどもが嬉しいと思えるかかわりを**
こどもの立場に立って振り返ってみて
- 0こ～4こ…  **こどもの思いに耳を傾けて**
一緒に感じ合えるやりとりを意識してみましょう

うちのひとへのメッセージ

こどものいいところをほめてあげてください。
失敗したことを責めず、努力を認めるようにしてください。
こどものすべてをしっかりと受け入れることで、こどもは安心し、心が豊かに成長します。
保護者やまわりの人の声かけや態度で、こどもの自己肯定感を育みましょう。

チェックリストⅠの解説

チェックリストⅡの解説

番号	
1	家庭に居場所があり、愛情に包まれている証拠です
2	自分ではできないという思いが、新たな意欲ややる気につながります
3	遊びの中で人間関係など様々なことを学びます
4	心が満たされると、周りにもやさしくできます
5	心の「栄養」を蓄え豊かな感性などを育みます
6	自分が大切にされていると、他者も大切にできます
7	「おはよう」や「おやすみ」などの挨拶は、挨拶する相手を認め、相手から認められる大切な人間関係をはぐくむ営みです
8	こどもの言動を認め、感謝の気持ちを伝えるとこどもも相手の気持ちを受け入れられるようになります
9	くじけそうになった自分を支えてくれるという安心感を感じます
10	喜びを共有してくれることにより、自己肯定感が育ちます

番号	
1	こどもの話を共感的に聞くことにより、安心感を与えます
2	苦手を無理に克服させるより得意なものを伸ばすほうが、意欲や自己肯定につながります
3	家族の対話が生まれたり、多様な考え方を身につけられたりすることにもなります
4	比較して叱ることにより、劣等感をうえつける可能性が高くなります
5	やる気と自己肯定感を高め、苦手なことにも意欲的に取り組む契機となります
6	こどもの気持ちを受け止めることと、要求をすべて受け入れることは違います
7	こどもの思いを聞くことにより、より深い自己反省をうながすことができます
8	報酬でやる気を引き出すと、損得で物事を判断したり、短絡的で攻撃的な人間に育ちやすくなったりすることが分かっています
9	わかるうとする姿勢が、こどもの成長を敏感につかむこととなります
10	こどもは間違いや失敗の中から多くのことを学びます



こころとからだをつくる

入学までに身につけたい生活習慣

「できている！」と思ったら、絵に色をぬりましょう。

まだできていないところは、これから始めてみましょう。

はやね

● やくそくの時間までに

大人の睡眠とは異なり、10時間程度のよい睡眠で脳とからだがつくれます

● しずかな、暗い部屋で

眠りを強くするホルモン「メラトニン」は、暗い部屋で多量に分泌します

● 寝るようにしましょう

昼間のイキイキ笑顔は前夜のよい眠りから！



はやおき

● 登校するまでによゆうをもって

前日に十分な睡眠をとって早起きをスムーズに

● 朝ごはんをきちんと食べて

生活リズムの基本に朝食

朝食は、学校生活のエネルギーです

● 朝ウンチの習慣をつけよう

早起きで余裕をもって1日スタート！



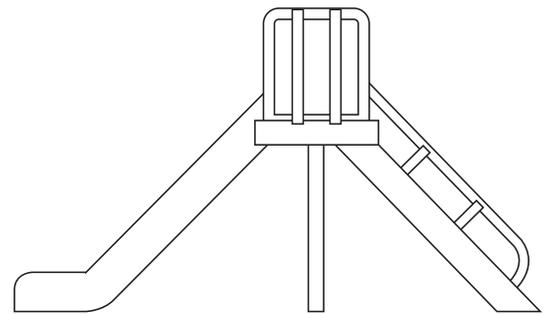
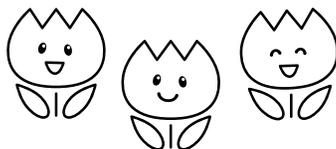
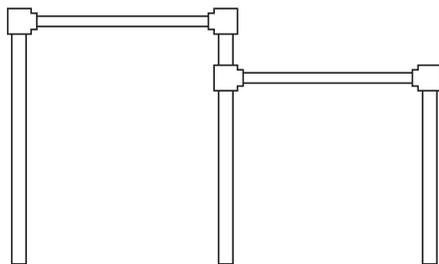
うんどう

● しっかり授業をうけられるように

45分間の授業時間を座れるようにするには背筋力が必要

● ジャンブルジムやすべり台など固定遊具でしっかり遊ぼう！

背筋力を養うには固定遊具の遊びが有効です



あいさつ

● 元気な声であいさつをしよう！

まずは大人が良いお手本を見せましょう

● 家族やまわりのみんなにもあいさつしよう

集団生活での良い関係づくりは、上手なあいさつから！

(「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」)



つか ちゅうい
使いすぎに注意！

でんし めでい あ じょうず
電子メディアと上手につきあおう



てれび すまあとふあ ん げえむき などの でんし めでい あ
テレビやスマートフォン、ゲーム機などの電子メディア

は とても べんり ですが、つか ちゅうい ひつよう
は とても 便利ですが、使いかたには注意が必要です。

ただ つか
正しく使うために、おうちのひとといっしょに、

つか じかん ばしょ るうる き
使う時間や場所のルールを決めてみましょう。



おうちのひとへのメッセージ

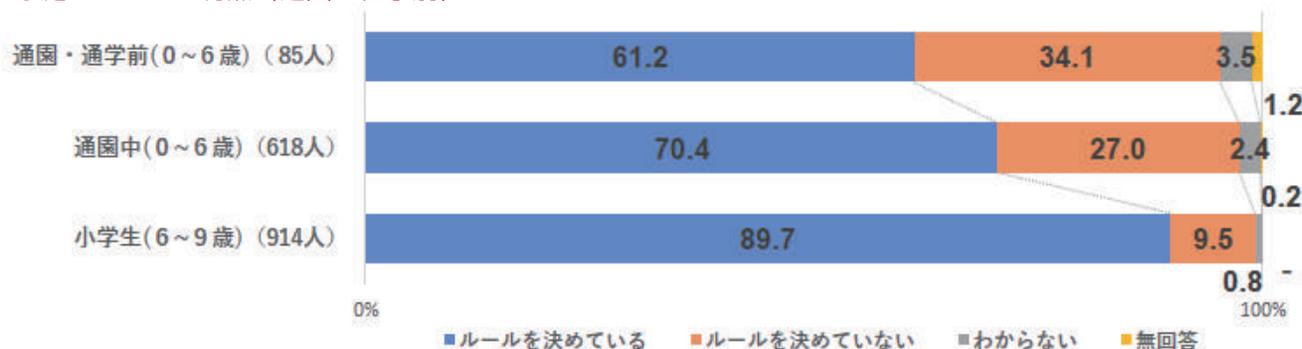
情報機器の急速な進歩と普及によって、こどもたちは電子メディアが溢れた環境で育っています。

しかし、便利な反面、長時間の利用が生活リズムを崩す原因となったり、

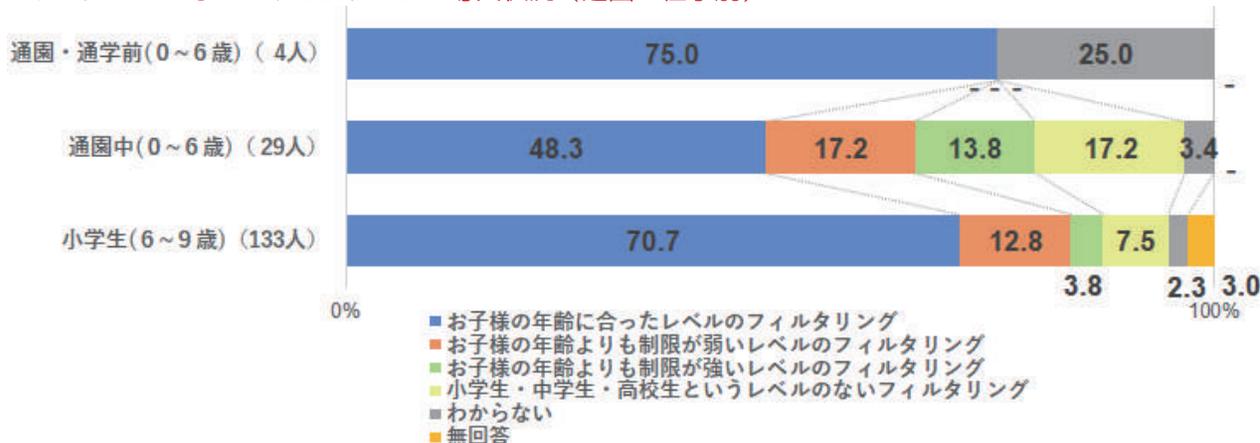
依存、ネットいじめ、脳への影響など、様々な影響が危惧されています。まずは、時間や場所のルールを決めて、上手く電子メディアを利用しましょう。

また、こどもの使うスマートフォンや携帯電話にはフィルタリングを利用しましょう。

家庭のルールの有無（通園・在学別）



スマートフォンでのフィルタリングの導入状況（通園・在学別）



※出典：令和5年度「青少年インターネット利用環境実態調査」報告書（こども家庭庁ホームページ）（参照 令和6年4月1日）

入学するまでに、おうちのひとといっしょに

がっこう ある
学校へのみちを歩いてみよう！

水筒のストラップやかぎのひもなどが

くび ちゅうい
首に引っかからないように注意しよう！

左手のほうがえんぴつやおはしを使いやすいなら、そのまま大丈夫！

歯はいたくないかな？いたかったら、おうちのひとに言って、歯医者さんでなおしてもらおうね！

にゅうがく ちえっく
入学するまでにチェックしよう

こんなことにも
きをつけて



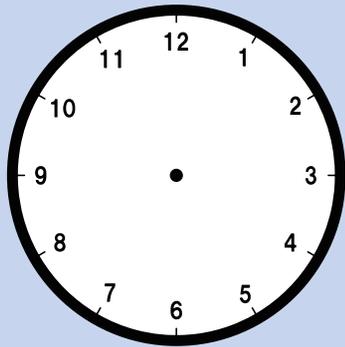
わが家のルールをつくろう

いっしょに決めて、しっかり守ろう！

おうちのひとといっしょに話し合っ^{はな}て、わが家のルールをつくって
みましょう。

かんたんなルールでもいいので、いっしょに決めたことは
しっかり守ることが大切です。

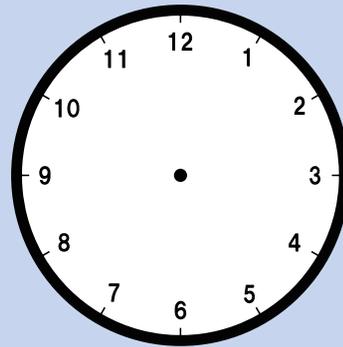
ルールを決めたら、時計をかんせいさせましょう。



① おきるじかん

朝の光は体内時計を
リセットし、心を穏や
かに保ちます！

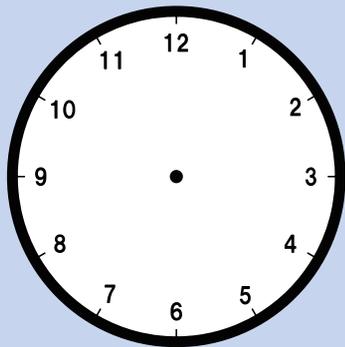
じ ぶん



② あさごはん

朝ごはんはこどもの
目覚まし時計！

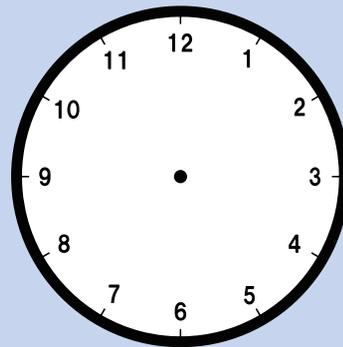
じ ぶん



③ よるごはん

一家団らん、楽しい
時間。夕食がむりなら
他の手段で！

じ ぶん



④ ねるじかん

成長ホルモンは寝て
いる間にたくさん分泌
します！

じ ぶん

⑤ おてつだい

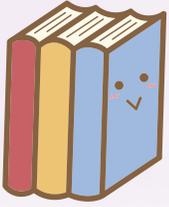
どんなおてつだいをしますか？

⑥ わが家のルール

わが家のルールを書きましょう！

おうちのひとへのメッセージ

子どもにとって保護者は、精神的に安心を得られるところのより所であり、一番身近な目標です。物事を知ったり、わかったりする楽しさは、まず保護者が率先してそういった姿を見せることで、きちんと子どもに伝わります。実は、こどもの学習の一番の基本は、「まね」をすることなんです。子どもを大切に、いいお手本となることが、こどもの学びを支えます。是非、こどもの成長をあたたく見守りながら、いっしょに取り組んであげてください。



ほんよ 本を読んでいますか？

ほん たの おうちのひとといっしょに本を楽しもう！



みなさんはおうちや図書館で本を読んでいますか？

おうちのひとやまわりのひとと同じ本を読んで、思ったことを話したり、読み聞かせをお願いしたりしてみましょう。

小学校でのあたらしい生活が始まろうとしている今、毎日少しでもいいので、本を読む時間を楽しみましょう。

おうちのひとへのメッセージ



こどもに本を「読み聞かせ」をすることで、こどもに想像力や考え方を身につけさせ、豊かな感性や情緒を育みます。

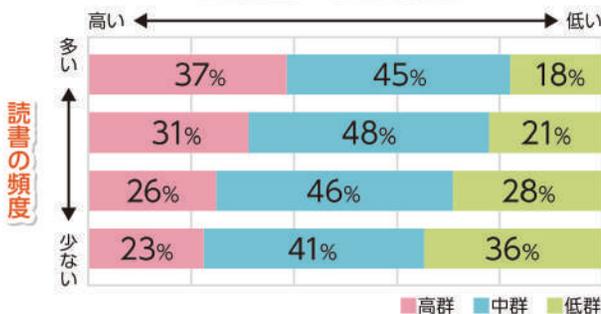
また、本を与えるだけでなく、おうちのかたが本を読む姿を見せることが、こどもにとっていいお手本となり、こどもを本好きにすることがわかっています。

同じ本を家族で読む「読み比べ」や、絵本の「読み聞かせ」をしたりすることは、家族のコミュニケーションを育てます。

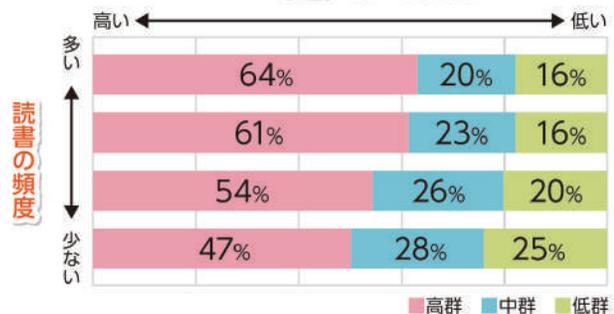
家族でのコミュニケーションは、こどもの不安感を和らげ、学校生活への適応を助けます。

読書をする事が多いこどもほど、コミュニケーションスキルや、礼儀・マナースキルが高い傾向にあります。

コミュニケーションスキル



礼儀・マナースキル



出典「こどもの生活力に関する実態調査」

- 子育てに困ったことがあれば、お住まいの市町村教育委員会までお問合せください。

※市町村教育委員会一覧
「令和6年度教育便覧」
和歌山県教育委員会



こども食堂ってなに？

- こども食堂は、単に食事を提供する場としてだけでなく、こどもたちにとって家庭でも学校でもない第三の居場所。
- 地域の誰もが参加できる交流拠点として、社会的にも注目を浴びています。
- こども食堂は地域の皆様によって運営されていることが多く、活動の目的や内容は各こども食堂によりそれぞれ異なります。

※詳細はQRコードからご確認ください。

(和歌山県こども食堂応援ネットワークホームページ)





こどもとともに育つ 和歌山大学教育学部 米澤好史 教授

お子さんが小学校にご入学される頃はこどもの心が一番、発達し、自立の基盤が培われる大切な時期です。園と学校では環境が変わり、お子さんが戸惑われることもあろうかと思いますが、親御さんも言わば新入生、一緒に小学校に慣れつつ、ともに育つお気持ちを大事にさせていただけるとありがたいです。

お子さんの自立の基盤となるのは、いつも自分と寄り添い、自分のことをわかってくれる親御さんの存在です。その存在との絆を愛着と呼んでいますが、この愛着関係を確かに意識することが、自立を促すより、お子さんの確かな自立心を育むからです。

このパンフレットをお子さんとのかかわりの参考にしていただけるとありがたいです。

このパンフレットをつくった

公益社団法人 和歌山県青少年育成協会って？

次代を担う青少年の健全育成を図るため、様々な取り組みを行っています。

また、県内すべての市町村に、青少年の育成活動を推進するために設置されている市町村民会議と連携しています。

こんなことをしています！

■少年メッセージ

中学生が日常生活の中での実体験などを通して得た自らの考え方や将来の夢を発表することにより、大人が今の中学生の考え方を深く理解する機会を持てるようにするとともに未来を担う若い世代の育成を図っています。

■こどもまんなか月間の取り組み

「春のこどもまんなか月間」に関係団体や地域社会が一体となったこども・若者育成支援活動の充実と定着を目的とした知事メッセージを青少年育成巡回活動隊から県内各市町村長に伝達し、青少年を正しく、心豊かに育成する県民運動の理解と協力を促します。

また、「秋のこどもまんなか月間」では、明日の和歌山を担う青少年の健全育成を推進するため、青少年団体、善行青少年並びに青少年育成に顕著な功績のあった個人及び団体などを表彰し、その活動を推奨します。



■編集委員・監修

米澤 好史 和歌山大学教育学部教授

■編集委員

小笠原 眞弓 和歌山信愛女子短期大学教授

玉置 瞳 県教育委員会生涯学習課主査

岡山 愛 那賀振興局地域づくり部主査

橘 美佐 和歌山市保育こども園課保育専門員

◆このパンフレットは、小学校の環境にスムーズに適應できるよう役立てていただきたいという想いで平成19年から制作しています。

◆このパンフレットについて、ご意見・ご質問等があれば下記までご連絡ください。

※パンフレットは協会HPからもダウンロードできます。



公益社団法人 和歌山県青少年育成協会

〒640-8319 和歌山市手平2-1-2 県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛9階

TEL:073-435-5236 FAX:073-435-5238

HPアドレス <http://wpyda.org/> E-mail:wakatsu@cypress.ne.jp

発行 2025年1月

和歌山県青少年育成協会

🔍 検索